



東洋産業だより

Vol. 272

まだまだ活躍中のエアコン、
こんな異常が起きているかも？

まだまだ暑い日が続く9月。デスクの上や台、ラインの上に黒い粒や薄膜が落ちている、そんなご経験はないでしょうか？

そんな時は少し目線を上げましょう。エアコンが近くにありませんか？正体は単なるホコリではなく、カビや汚れが固まったものかもしれません。冷房運転中のエアコン内部では結露が発生し、ホコリや油分が付着するとカビが生育しやすくなります。カビは周囲の汚れを取り込みながら膜状の汚れ（バイオフィルム）を形成し、簡単には取り除けなくなることに加え、業務用エアコンでは、粉塵や油分などの汚れも蓄積します。これが乾燥してはがれて噴き出してくるのがこの正体です。

さらに、汚れたエアコン周辺や内部は、カビや害虫類の発生源になることも。ドレンパンや排水経路汚れには

チョウバエ、カビの生えたエアコン本体や周辺には有翅チャタテムシ、溜まった汚れや死骸を狙ってヒメマルカツオブシムシ…などが発生します。

特に製造エリアやラインの近くや上部に注意。これらが製品などに落下・飛散すれば、異物混入につながります。

対策はフィルター清掃だけではありません。冷房を切った後の内部乾燥（送風設定で30分～1時間程度まわす）、排水経路の確認、必要に応じた専門的な分解洗浄なども重要です。さらに、従業員による定期的な目視点検で異常を早期発見し、異物混入リスクを早期に見つけ、エアコン由来の異物が発生しにくい環境をつくりましょう。



エアコン点検簡易チェックリスト

- ① エアコン本体
 - ☐ 虫の死骸・翅、クモの巣なし
 - ☐ 吹出口や吸込口に虫・虫の死骸・異物なし
 - ☐ 吹出口にほこりや水滴などの付着なし
 - ② フィルター
 - ☐ 虫・虫の死骸なし
 - ☐ 大量のほこりの付着、目詰まりなし
 - ☐ 破れ、外れ、ガタなし
 - ③ エアコン周辺
 - ☐ 真下や周辺に異物の落下なし
 - ☐ 虫やクモの目撃なし
 - ☐ 天井や壁にシミ、濡れ、結露などの異常なし
- ※ 目視点検 : 月1回、1台あたり数分程度
 ※ フィルター清掃 : 汚れ具合に応じて
 ※ 洗浄・点検 : 年1～2回程度（専門業者）
 使用環境や汚れ具合に応じて実施



ムッシバリア

特徴：窓サッシ上部の隙間を埋めることで虫の侵入を防ぐ。設置は剥離紙を剥がして粘着部分をサッシに貼りつけるだけ。窓や網戸に干渉する部分にはフッ素コーティングが施されており開閉がスムーズ。

今月の 豆知識

「秋の七草」を探してみよう

七草がゆでおなじみの「春の七草」は広く知られていますが、実は「秋の七草」もあります。

秋の七草は、オミナエシ、ススキ、キキョウ、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギの七種類。覚え方はそれぞれの頭文字をとって「お好きな服は？（おすきなふくは）」で覚えましょう。秋の七草は約1,300年前、奈良時代の歌人・山上憶良が詠んだ和歌が由来とされます。その和歌は2首。「秋の野に 咲きたる花を 指折り（およびおり） かき数ふれば 七種（ななくさ）の花」（秋の野に咲く花を指折り数えると、七種類あるよ）。続く歌で「萩の花 尾花（すずき） 葛花 などしこの花 女郎花（おみなえし） また藤袴 朝貌（あさがお）の花」。（最後の朝貌は、おなじみのアサガオではなく、開花時期や文学的な記述

などからキキョウと考える説が有力とされています。）

これらは食べるためではなく、その美しさを眺めて秋の訪れを感じる植物として親しまれてきました。風に揺れるススキの穂、可憐な花を咲かせるナデシコ、枝いっぱい小さな花を咲かせるハギ、鮮やかな黄色のオミナエシ、甘い香りを漂わせるクズ、旅するチョウ・アサギマダラが訪れる淡紅色のフジバカマ、そして涼しげな青紫色のキキョウ。それぞれが異なる魅力で秋の野を彩ります。

近年秋の七草をまとめて見られる場所は少なくなりました。それでも公園や河川敷、里山などでいくつかに出会えるかもしれません。今も昔も変わらず身近な場所で静かに秋の訪れを知らせてくれる花を楽しみましょう。

